

各位

一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
会 長 柏 本 保
広報渉外部長 鈴木 祐一

シンポジウム「神戸洋家具の過去・現在・未来
～神戸洋家具再生の道程を探る～」のお知らせ

平素は当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびのシンポジウムでは、京都工芸繊維大学の笠原一人様をコーディネーターに迎え、神戸芸術工科大学大学院の佐野浩三様、建築家の金野千恵様、兵庫県家具組合連合会会長の藤井光造様をパネリストとしてお招きし、講演ならびにパネルディスカッションを開催致します。

慶応3年(1868年)の神戸開港に伴い誕生し、昭和初期の阪神間モダニズム建築物への採用を期に発展した神戸洋家具について、150年以上に亘る歴史を振り返ることにより、新型コロナウイルス感染症感染拡大を契機に拡大した、リモートワーク等の住生活環境が変化していくなか、近未来の生活において神戸洋家具にどのような新しい展開の可能性が期待できるのかを皆様と考えてみたいと思います。

是非多数の方にご参加頂き、多様なご意見を頂ければ幸いです。

記

開催日時 令和5年2月11日(土) 14:30～17:00 (開場 14:00)
会 場 神戸三宮東急REIホテル 3F ボールルーム
※詳細につきましてはチラシをご参照下さい。
入 場 料 1,000円 (学生証の提示で半額500円)

申 込 書

※シンポジウムへの参加を申し込みます。

氏名 _____ 連絡先 _____

所属 _____

※複数名の場合はその旨を余白に記入し、代表者のお名前をご記入下さい。

※送付先 → メール info@hyogo-aaf.org FAX078-371-7913

シンポジウム

神戸洋家具の過去・現在・未来

神戸洋家具再生の道程を探る



コーディネーター
笠原一人

京都工芸繊維大学助教
1970年神戸生まれ。1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。2010-11年オランダ・デルフト工科大学客員研究員。専攻は近代建築史、建築保存再生論。共編著に「建築と都市の保存再生デザイン」(鹿島出版会)、「建築家浦辺鎮太郎の仕事」(学芸出版社)ほか。共著に「関西のモダニズム建築」(淡交社)、「村野東吾の住宅デザイン」(国書刊行会)ほか。

パネリスト
佐野 浩三

神戸芸術工科大学 大学院 / プロダクト・インテリアデザイン学科教授
1960年生。京都工芸繊維大学大学院修士課程修了。博士(芸術工学) / 工学修士。建築事務所勤務を経てデザイン事務所設立後、神戸芸術工科大学入職。専門はインテリアデザイン。2004年から神戸洋家具産業についての研究を続けている。現在の研究テーマは、「バナキュラーデザイン」。

金野千恵

teco 主宰 建築家 / 京都工芸繊維大学 特任准教授
1981年神奈川県生まれ。2011年東京工業大学大学院博士課程修了。博士(工学)。神戸芸術工科大学大学院助手、日本工業大学助教などを経て、15年teco設立。21年より京都工芸繊維大学特任准教授。おもな作品=住宅「向陽ロジアハウス」、福祉施設「幼・老・食の堂」、公共施設「北上市保健・子育て複合施設 hoKko」など。

藤井光造

株式会社クレアシオンフジイ / 株式会社藤井正商店 代表取締役
1948年神戸生まれ。1970年同志社大学商学部卒業。1970年から3年間フランスへ留学し、アールヌーボ、アールデコ期の家具について学ぶ。帰国後1974年、父が経営する家具製造会社に入社し現在に至る。兵庫県家具組合連合会会長。

2023年2月11日(土) 14:30 ~ 17:00 (開場 14:00)

会場：神戸三宮東急 REI ホテル 3F ボールルーム

定員：60名(要申込・先着順)

参加費：一般 1,000円、学生 500円(学生証をご提示ください)

お申込み・お問合せ：兵庫県建築士事務所協会事務局


TEL 078-361-4523 FAX 078-371-7913




Mail info@hyogo-aaf.org

必要事項(お名前・電話番号・所属)と「シンポジウム申込」と記入のうえお申込みください



Architect
Quartet
Hyogo

【主催】  一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
兵庫県家具組合連合会

【後援】  公益社団法人 兵庫県建築士会
 公益社団法人 日本建築家協会兵庫地域会
 兵庫県建築設計監理協会

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、兵庫県にまん延防止等重点措置が発令された場合は中止といたします。